

平成21年度木質資源利用ニュービジネス創出モデル実証事業の採択課題

番号	申請者	事業名	事業内容
1	滝上林業協同組合 (北海道)	渚滑川流域木質バイオマス資源利 活用実証事業	森林組合、農業協同組合、町、チップ供給事業 者との共同事業により、民有林の間伐推進を図 り、林地残材を効率的に集荷して、農業用資材 や燃料チップとして活用する。このため、高性能 林業機械を活用した効率的な収集方法、及び農 業用資材等への活用に向けたチップの破碎、選 別、保管方法の検証を行う。
2	株式会社 イワクラ (北海道)	パーティクルボード及び木質ペレ ット原料としての木質資源利用実証 事業	間伐未利用材を収集し、パーティクルボード及 び木質ペレット原料として利用する。間伐と集材 を一体的に行うことにより集材費の低減を目指 すと共に、原料に応じて現地破碎や輸送方法を 工夫する。また、ペレットについて林地残材によ る製造基準を確立する。
3	有限会社 二和木材 (岩手県)	北上川上流地域木質バイオマス資 源利活用実証事業	アカマツ、カラマツ、スギの人工林を対象に、採 算のとれる低コスト間伐システムを構築し、低質 間伐材を燃料用、農業用、製紙用などの用途に 活用する。高性能林業機械を積極的に導入した 複数の作業システムを実証すると共に、燃料 用、畜産敷料や土壌改良材などへの新用途拡 大にも取り組む。
4	宮城県森林組合連合会 (宮城県)	木質資源利活用実践事業	間伐作業に伴って発生する林地残材をA材、B 材とともに効率的に搬出し、燃料、パーティクル ボード、繊維板原料等として安定的に供給するシ ステムを確立する。プロセッサ等高性能林業 機械の活用、木寄せ作業や残材積み込み作業 の効率化に取り組む。また、燃料用への適用性 について検証する。
5	福島県木材チップ生産 協議会(福島県)	間伐未利用材の効率的な集荷方 法と多目的利活用事業	県内のチップ生産業者3社の共同により、周辺 地域からの間伐未利用材をチップ化し、使用用 途により分級して、近隣の製紙工場、ボード工 場、発電所等に供給する。このため森林組合、 素材生産業者との連携を強化し、林地残材の多 目的利用システムを構築する。枝葉を含め、現 地破碎や効率的な運搬方法の検討によりコスト ダウンを図る。
6	遠野興産株式会社 (福島県)	間伐未利用材の効率的収集、輸 送方法構築及び多目的利活用実 証事業	間伐未利用材を収集し、製紙用チップ、ペレット 原料、燃料チップ、家畜敷料など多様な用途に 分別して利用する。高密度路網の開設、高性能 林業機械導入による全木集材を基本に収集コス トの低減を目指す。かさ比重の小さい枝葉に ついては現地破碎方式を導入すると共に、端材 や曲がり材等の運搬方法の効率化を図る。
7	有限会社 古屋製材所 (山梨県)	工場破碎・現地破碎の能率的な運 携による林地残材チップ化事業	山梨県と近隣の県で発生する林地残材を、製紙 用チップ、ボイラ燃料、土木用材等に活用する。 グラブ等の利用による集材の効率化、移動 式破碎機による現地破碎、アームローラーによ る輸送、回収コンテナの設置、大型トレーラーに よる効率的輸送等の実証を行う。これらを通して 経済性の把握とCO2排出量の解析などを行う。
8	王子木材緑化株式会社 (東京都)	社有林の利用間伐促進及び木質 資源有効利用促進事業	グループ社有林において、一般材や合板用材 の生産と併せて、パルプチップ用や燃料用等の 低質材の利用促進を図る。このため、高性能林 業機械等による新たな伐出システムの構築、コン テナ利用による末木枝条・端材の集積・運搬 方法の効率化に関する実証を行い、ビジネス展 開の可能性を明らかにする。
9	住友林業フォレストサー ビス株式会社 (東京都)	端材や枝条等の低コスト集荷シ ステムの開発及び発電用燃料等へ の利用実証	愛媛、高知全域の広い地域において、間伐の実 施と木質バイオマスの利用を可能にする地域モ デルを構築する。このため、製紙、ボード、発 電、畜産等の複数需用者に対して、資源を安定 供給できるよう、伐採から造材、搬出、選別、運 送、加工利用までを一体的に行う方法を、現場 に応じて明らかにする。
10	フルハシEPO株式会社 (愛知県)	間伐材の多様な活用と全工程で のコスト評価に関する実証事業	間伐材の搬出コストを低減し、低利用材を燃料 用チップ、製紙用チップ、パレット用材等の複数 用途に活用するシステムを構築する。全木集材 を基本に木質資源総体として集材し、用途分別 の適正化により総合的な低コスト搬出システム 構築と付加価値の高い利用方法を検討する。

番号	申請者	事業名	事業内容
11	E2リバイブ株式会社 (三重県)	間伐未利用材を有効活用した地域活性化システム実証事業	建設機械を効率的に活用し、林地残材の収集、破碎、搬出の低コスト化を図り、ペレット生産を主に、製紙、畜産用等にも活用する。このため、効率的な作業道の開設、林地残材の搬出、自走式破碎機による破碎、コンクリートミキサー車による運搬、ペレット生産等について検証する。
12	岡山大建工業株式会社 (岡山県)	間伐材利用によるインシュレーションボード生産事業及び枝葉残材活用による木質ペレット生産実証事業	社有林及び近隣の社有林から間伐材を集材し、用材不適材をチップ化し、従来からの建築廃材由来チップに混入してインシュレーションボードを生産する。また、枝葉については付加価値の高いペットイレ用ペレットとして活用する。これら一連のシステムの効率化を図ることにより、新たなビジネスモデルを構築する。
13	エヌ・アンド・イー株式会社 (徳島県)	間伐により発生する木質バイオマス資源のMDFへの利用モデル実証事業	徳島県の指導による「徳島スギC材MDF活用協議会」を基盤に、林地残材の活用に取り組む。収集は全木集材を基本とし、各素材生産現場に適した低コスト収集システムを実証する。中でも輸送コストの低減は大きな課題であるため、現場での裁断・積載方法の検討のほか、中間にチップ工場を建設する方法についても検証し、総合化を図る。
14	中山リサイクル産業株式会社 (福岡県)	未利用間伐材の合理的な集荷方法の検証と燃料用等としての利用実証	福岡県の荒廃森林再生事業と連携を図り、間伐地から未利用材を搬出し、バイオマス燃料及びパーティクルボード原料として利用する。伐採→搬出→破碎の一連作業を効率化し、最適なコスト配分を検討する。チップ燃料としての合理的な利用方法、間伐・収集作業の効率化、マテリアル資源としての有効利用について検証する。
15	協同組合きもつき木材高次加工センター (鹿児島県)	林地残材の粉碎チップ・乾燥チップ生産実証事業	林地残材や低質間伐材を収集し、これらを燃料用チップとして温泉施設、施設園芸や養殖産業用に有効活用するシステムを確立する。このため、素材生産業、運送業、製材業の3者の連携による最適な集材・出材体制の構築とコスト低減、生産性向上の実証を行う。また、燃料用としての乾燥チップによる代替エネルギー効果について検証する。